

「丹波市地球温暖化対策実行計画」 ∞令和元年度 進捗状況報告（平成30年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第10項に基づき、平成25年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画」（第二期実行計画）の進捗状況を報告、公表します。この計画では、実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的としています。

☆計画の概要☆

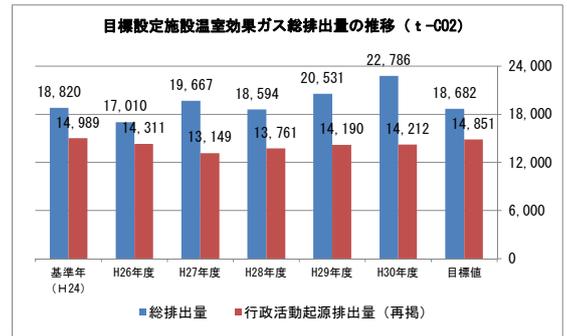
- ◎計画の基準年：平成24年度
- ◎実行計画期間：平成26年度～平成30年度（5年間）
- ◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- ・CO₂（二酸化炭素）、
- ・CH₄（メタン）、
- ・N₂O（一酸化二窒素）、
- ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **18,820t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **14,989t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **3,831t-CO₂**

●温室効果ガス排出量の推移



★削減目標★基準排出量（18,820t-CO₂）に対し
 0.7%（138t-CO₂）削減

☆平成30年度温室効果ガス排出状況☆

◎平成30年度温室効果ガス総排出量 **22,786t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **14,212t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **8,574t-CO₂**

平成30年度温室効果ガス総排出量

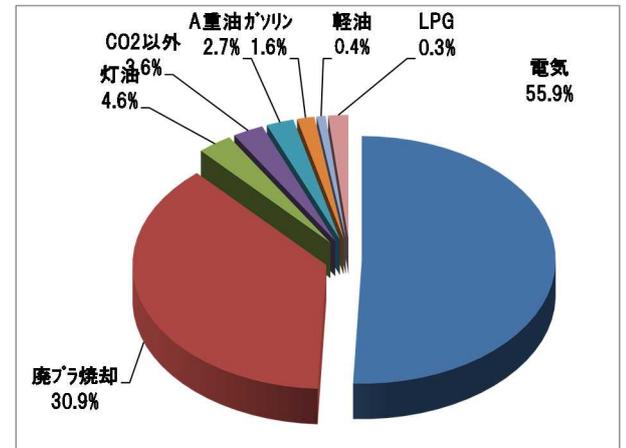
排出量は22,786t-CO₂となり、基準年の排出量（18,820t-CO₂）に対して3,966t-CO₂（21.1%）増加しました。各項目で見ると、廃プラスチックの項目で排出量が増加しています。

◎行政活動起源による排出量の減少の理由

各施設で空調の温度設定（冷房28℃、暖房20℃）や、クールビズ等エコスタイルの実施を引き続き実施しました。また設備更新（照明のLED化、省エネ効果の高い空調への更新）を順次すすめています。

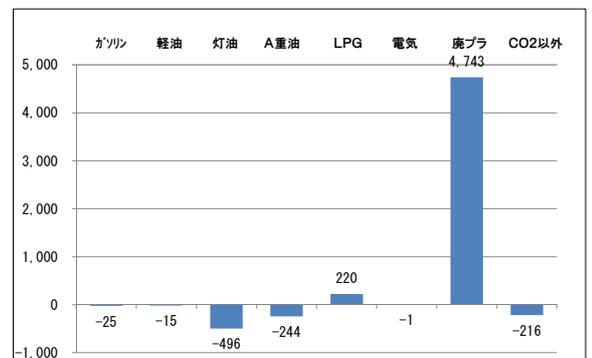
※排出量の計算方法は基準年に準じる。

●温室効果ガス排出源構成（H28実績）



●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO₂）

項目	排出量		基準年対比	増減	
	H24年度	平成30年度			
燃料	ガソリン	357	332	-7.1%	-25
	軽油	184	169	-8.2%	-15
	灯油	1,162	666	-42.7%	-496
	A重油	765	521	-31.9%	-244
	LPG	161	381	136.6%	220
電気	11,557	11,556	0.0%	-1	
廃プラスチック焼却	3,831	8,574	123.8%	4,743	
CO ₂ 以外の温室効果ガス	803	587	-26.9%	-216	



温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による排出量は減少しており、引き続き、照明の消灯などのソフト面、空調機器の更新やLED照明の導入などのハード面の両方で排出量の削減に努めていきます。この点については、更新による高い省エネ効果が期待できるため、第3期実行計画の主要項目として盛り込んでいます。一方、廃プラスチック起源の排出量は前年度に続き増加しており、これを課題と認識し、対策を検討していきます。